

# 北戸田駅周辺ウォークアブル 歩道整備イメージについて

令和8年1月21日  
戸田市 まちづくり区画整理室

---

# 1. 戸田市まちなかウォーカブル推進事業 高架下空間歩道整備のコンセプト

## (1) 上位計画・関連計画の整理・キーワード抽出

### 戸田市第5次総合振興計画 [令和3年4月]

○将来都市像：『このまちで良かった』みんな輝く未来共創のまち とだ



市の花：サクラソウ



市の木：モクセイ

### 第3次戸田市都市マスタープラン [令和8年4月施行予定]

○将来都市像

このまちで良かった 潤いと活力に溢れ 安心を実感できるまち とだ

○将来都市構造

北戸田駅周辺：商業ゾーン

【交通の利便性を活かし、商業施設の維持と強化を図るゾーン】

交通の利便性を活かし、広域的な集客力の強化を目指して商業を活性化させるとともに、地域の日常生活を支える商業機能を充実させ、居住環境を兼ね備えた、商業機能の維持と強化を図るゾーンとします。

### 第2次戸田市景観計画 [令和元年12月]

○北戸田駅周辺景観づくり推進地区

- ・土地の記憶が継承された潤いと癒しの空間づくり
- ・人々が集い楽しめる新しい生活拠点のにぎわいづくり
- ・さわやかで清潔感のある美しいまち並みづくり

○商業系土地利用の方針

①デザイン全般の考え方

- ・にぎわいと界わい性を感じさせるデザインとする
- ・安心して歩ける歩行者空間のデザインとする
- ・人の目を楽しませる緑化デザインとする

②色彩の基本的考え方

- ・にぎわいをつなげる色彩とする
- ・変化のあるまちなみにふさわしい色彩とする
- ・基調とする色彩（比較的幅広い範囲の色彩を想定し、各色相について中・高明度で中・低彩度の色彩を基調とします。）

③夜間照明

- ・にぎわいをつなげる照明とする

### 戸田市スマートウェルネスシティ推進プラン [令和6年3月]

○基本理念

まちなかを自然に歩きたくなることで、多世代の集いと交流が生まれ、生きがいを感じながら健幸に暮らすことのできるまちづくり

健康×まちなかウォーカブルの推進が記載されており、まちなかウォーカブルの推進により、新たな賑わいや交流を創出し、市民の歩行量と外出頻度の増加を促し、心身の健康増進を図る。

### 北戸田駅周辺まちなかウォーカブル将来ビジョン[令和7年4月]

○コンセプト

新しいチャレンジを育てていくことで変化し続けるまち、北戸田

○エリア別の将来像“高架下周辺”

～文化芸術からスポーツまで、様々なコンテンツを通じて豊かな感性や創造力を育み、表現できる空間～

○活動の重点方針

- ・駅前・交流広場からのにぎわいをつなぐ

○基盤整備の方針

- ・多彩な活動のきっかけとなる高架下のオープンスペース
- ・新たなチャレンジを支援する枠組みの構築
- ・居心地よい緑や滞在を促す設えのある空間

○具体的な取組の例

- ・文化芸術・スポーツなどの多様な趣味の人々が集まるスペースづくり
- ・チャレンジを応援する官民連携による枠組みの検討
- ・シェアサイクルサービス等の高度化（モビリティステーション）
- ・夜間イルミネーションによる演出
- ・環境空間協道路の再整備（ストリートファニチャーなどの設置による高質空間化）



←高架下周辺の将来像

## (2) 北戸田駅周辺について（デザイン踏襲）

### 北戸田駅西口交通広場

○修景デザインコンセプト

- ・まちの顔となる美力あふれる駅前広場～おもてなしの空間づくり～

○景観デザインの考え方

- ・地域の魅力・価値を高める景観づくりとおもてなしを感じデザイン

○デザインコンセプト

- ・おしゃれで質の高い賑わい感を演出する
- ・もてなしを感じるデザイン
- ・環境に配慮したデザイン
- ・安心安全で快適さを感じるデザイン

○具体的な設え

- ・ぬくもり＝人が手を振れ、ぬくもりを感じる＝
- ・あかり＝利用する人がほっとできるあかり＝
- ・交流空間＝訪れた人々が憩い交流できる＝
- ・高い利便性＝きめ細やかなサービス＝
- ・高耐久性・低メンテナンス＝持続可能な空間＝

### 北戸田駅西口広場交流エリア

○デザインコンセプト

- ・北戸田駅西口駅前広場と一体性を持たせるため、交流エリアの施設は北戸田駅西口駅前広場のデザインコンセプトに倣い、バランスのとれたものにする。

【北戸田駅西口駅前交流広場の完成イメージ図】



### (3) 現状の課題

#### 1) 全体

- ・西口・東口両方とも、夜間の安全性に課題がある。
- ・道路付属物等を揃え、統一感を図る必要がある。
- ・ベンチ等の休憩スペースがない。
- ・JR敷地を含めた一体整備ができれば賑わい創出に一層つながる。

#### 2) 西口

- ・周辺地域の開発が東口に比べ進んでいないことから、閉鎖的に感じる空間のイメージを払拭する必要がある。
- ・西口交通広場及び交流広場と一体感を持たせる演出が必要である。
- ・西口広場及び該当道路の利用用途の変更(車道→歩道)により、人の動きが変化することから、それらに応じた検討が必要である。

#### 3) 東口

- ・比較的開けたスペースがある事から、賑わいを創出するため出入口部分に工夫(仕掛け)が必要である。
- ・市道第7118号線及び区画街路9-6を含め、歩行者・自転車・自動車の役割分担を図るとともに、交通安全対策を講じる必要がある。

駅前からの賑わいをつなぐ社会実験から得た利用者等の意向を踏まえ、歩道空間課題に反映  
(社会実験実施期間：令和7年10月4日～10月17日)

- ・日よけ、雨除きの設置(パーゴラなど)
- ・周辺用地も積極的に活用しながら、植栽の配置も工夫し、利用者の滞留・キッチンカーやイベントの展開が可能なスペースの確保(ベンチの設置や車両が停車できるスペース)
- ・照度と空間の豊かさを確保しつつ、防犯性に優れた照明の設置(ポールやボラードの照明)

### 景観アドバイザー コンセプトと整備方針などを相談

区分	要点(端的整理)
全体計画・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR用地も含め滞留空間を積極的に確保</li> <li>・周辺と連続性のある舗装を基本(ペーじュ系)</li> <li>・舗装は目立たせずに滞留性確保</li> <li>・結節点のみ特徴的な舗装を導入</li> <li>・ストリートファニチャーで全体の統一感を確保</li> </ul>
色彩計画・舗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場に合わせた色を基本とし住宅地らしさを重視(ex:ウォーム系のグレー)</li> <li>・滞留部に重点投資、通過部は簡易舗装</li> <li>・結節点のみブロック舗装、その他はアスファルト</li> <li>・西側曲線部はアスファルトが合理的</li> <li>・駐車場境界の段差は撤去を検討</li> </ul>
滞留空間のづくり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・囲われ感のある空間を形成(可動プランター等)</li> <li>・緑は均一にせず、滞留部を厚く配置</li> <li>・休憩機能が分かる素材・色分け</li> <li>・電柱・架線の撤去を優先</li> <li>・歩行者と自転車のゾーニングを明確化</li> </ul>
植栽計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風対策や多様な樹種を導入</li> <li>・高木-中木-低木の高さ構成でヒューマンスケール確保</li> <li>・プランターや住民参加型花壇の導入</li> </ul>
照明計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色温度3000K程度の暖色系で安心感を演出</li> </ul>

### 全体コンセプト

## ～心地よさが散りばめられた、楽しくて、寄り道したくなる空間～

駅前広場の“おもてなし”思想を継承しながら、滞在性・回遊性を高める設えを導入し、通勤・通学だけでなく、思わず立ち寄りたくなるような楽しい仕掛けと魅力的な空間を目指す。また、夜間も安心できる照明を備え、居心地の良いファニチャーや緑の演出などにより、地域の成長を支える新しい日常の舞台としての空間を創出する。今後のウォーカブルなまちづくりが魅力的に発展していくことを見据え、人が滞留し、利用したくなる空間の設えを行う。

### 西側空間デザインコンセプト

#### ～人と人、人とまちがつながる、動きとにぎわいのある空間～

交流広場・噴水公園・2号公園を結ぶ主要動線として、アクティブで開かれた空間を形成する。ベンチやデッキなどのファニチャーを配置し、滞在性を高めるとともに、賑わいの創出に向け、キッチンカーの設置スペースを確保する。さらに、夜間も安心できる照明計画により、地域の活力を支える「にぎわいの軸」を目指す。

### 東側空間デザインコンセプト

#### ～緑に包まれ、ひと息つける、やさしく落ち着いた空間～

高架下の影と豊かな緑により、暑さを和らげる静かな動線を形成。通勤・通学の合間にほっとできる場所として、ベンチや植栽などの設えにより滞在性と癒しを高める。夜間も安心できる照明を整備し、まちの喧騒から少し離れた、やさしく包み込むような空間を目指す。

### 整備方針

#### 1. 色彩計画 ～調和を感じる色彩～

- ・周辺との連続性を重視し、駅前広場に近いウォームグレー系を基調とする。
- ・ファニチャーやプランターには維持管理の面を考慮しつつナチュラル系素材を使用するなどにより、交流広場との連続性を確保する。

#### 3. 舗装計画 ～リズムを生む舗装デザイン～

- ・滞留部や交差点などに特徴的な舗装を採用し、視覚的なリズムを生み出す。
- ・路面に距離サインを標示することで、ウォーキングやマラソンを楽しむ環境を整える。
- ・アスファルト舗装を基本とするものの、その空間の用途に応じてILB舗装、BL舗装などについて検討を行い、空間にメリハリを持たせる。

#### 5. 滞留空間計画 ～交流を促す居心地設計～

- ・滞留を促すため、色彩や舗装、植栽にてメリハリをつけ、視覚的に滞留空間とわかる様にする。
- ・ベンチ・テーブル・パラソルを配置し、休憩・交流を促す。
- ・キッチンカーやイベントスペースを確保し、にぎわいを創出する。
- ・歩行者と自転車のゾーン分けを明確化し、安全性を確保する。

#### 2. 照明計画 ～防犯と温もりを両立する光環境～

- ・ボラード照明とハイポール照明を組み合わせ、温もりと防犯性を両立する。
- ・色温度は、温かみのある3000K程度とし、安心感を与える4000K程度の光を効果的・効率的に活用する。
- ・滞留部やファニチャー周辺は補助照明を設置し、夜間の居心地を高める。

#### 4. 植栽計画 ～緑の陰影と季節感を楽しむ空間～

- ・緑は等幅ではなく、滞留部に厚く配置し、低木・中木を含む多様な樹種を導入する。
- ・季節感や彩りを演出する花木を組み合わせる。
- ・強い風を考慮し、防風性のある樹種を選定する。
- ・地元住民が手入れできるプランター、花壇を設置し地域参加を促す。



▲(左：戸田駅高架脇の花壇 右：美女木2丁目道路)

## ■北戸田駅現地状況：東口



①東口駅前広場  
 ・ベージュグレーを基調とした平板舗装  
 ・ガラス屋根のバス停



②対象区間入口  
 ・中央に緑地のある比較的広いスペース



③東口駅前広場側  
 ・幅員も広く比較的通りやすい  
 ・高木があり比較的緑陰がある



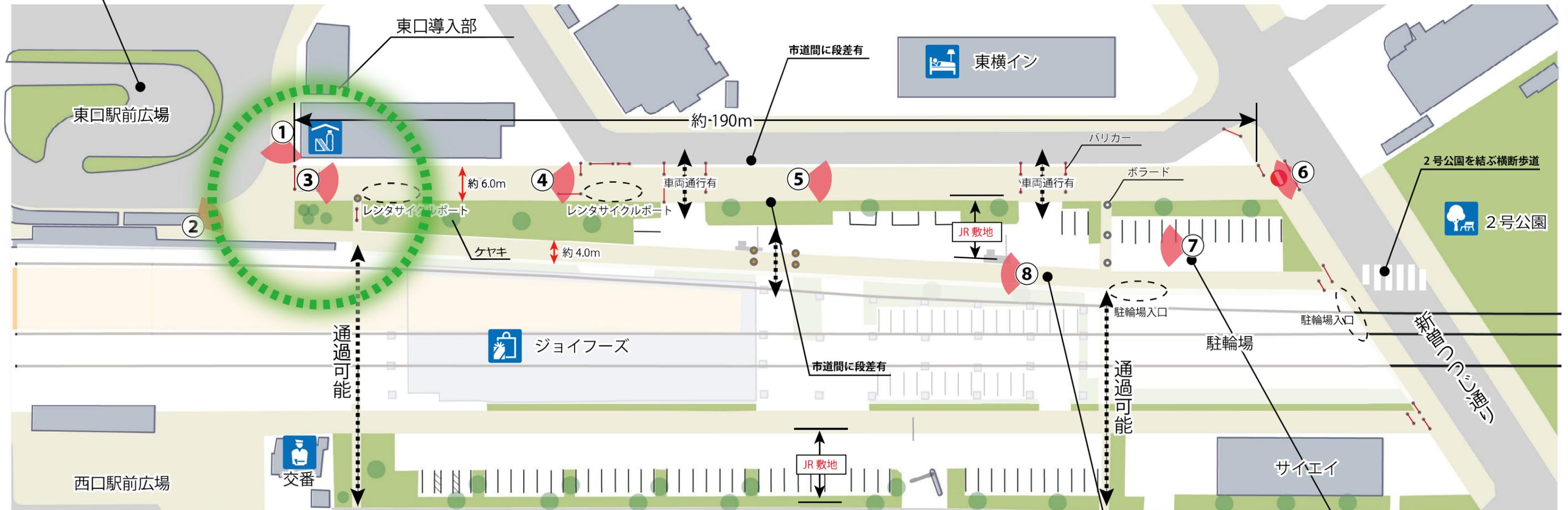
④東口中央部分 1  
 ・車両横断があり、サイクルポート有  
 ・車両通行をバリカーで規制



⑤東口中央部分 2  
 ・歩行者のみ通行可能  
 ・車道側に段差あり



⑥東口二号公園側入口  
 ・規制標示とバリカーで車両規制



### 【現況】

- ・幅員は、約6m、延長は190mで歩行者用道路。
- ・2本の道路に挟まれるように、平坦な緑地帯（JR管理）が整備。
- ・コンビニ、ビジネスホテル、集合住宅等が沿道にある
- ・緑地が多く、午後には、鉄道高架橋の影になり、暑さが和らぐ。
- ・一般的なアスファルト舗装で、特徴のない空間になっている。
- ・一般的な道路照明が、一定間隔で設置されている。

### 【課題】

- ・沿道からの漏れ光があるが、夜間は安全面に課題がある。
- ・JR敷地を含めた一体整備ができれば賑わい創出に一層つながる。
- ・道路付属物等を揃え、統一感を図る必要がある。
- ・高木は落葉樹のため、冬は枝木になってしまう。
- ・ベンチ等の休憩スペースがない。
- ・賑わい創出のため、導入部に工夫（仕掛け）が必要である。
- ・歩行者・自転車・車を分離する必要がある。（レンタルサイクルなどのポートや駐輪場出入口が歩行者と干渉する）



⑧高架下道路  
 ・駐輪場があるため自転車通行が多い



⑦東口駐車場  
 ・JR敷地は駐車場として運営  
 ・緑地部分もJR敷地

## ■北戸田駅現地状況：西口

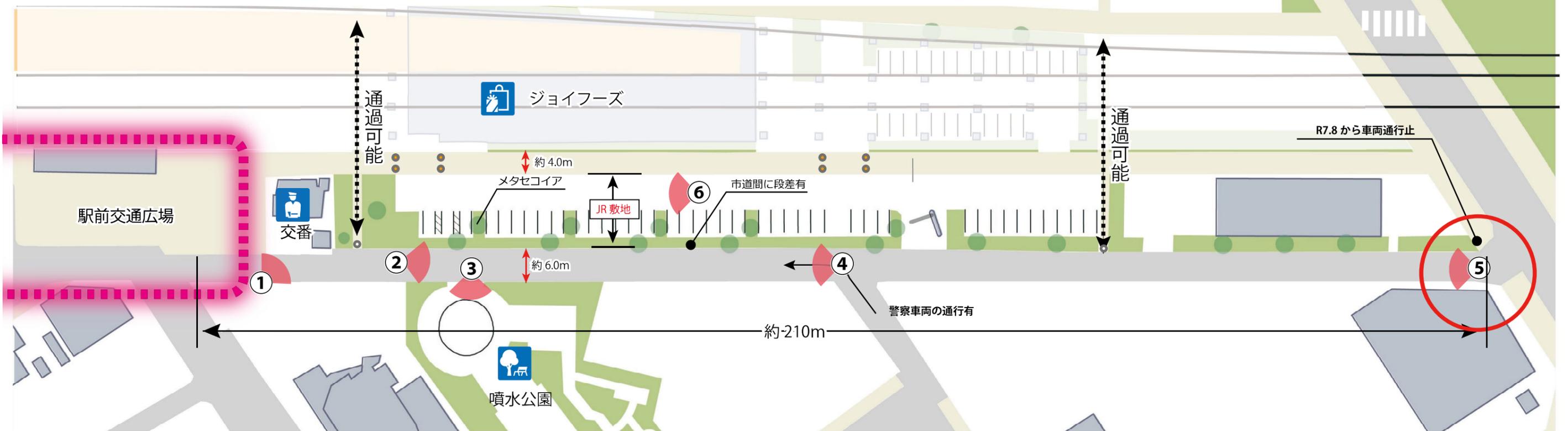
### 【現況】

- ・幅員は、約 6m、延長は約 210m
- ・西口駅前広場の工事が進行中。今後変化のあるエリア
- ・片側 1 車線一方通行の歩車共存道路（令和 7.8 より車両通行禁止）。
- ・沿道の建物は、交番、学習塾、集合住宅、カフェ、ガーデンメーカー
- ・東口より、住宅街に近く、人通りは少ない。
- ・両側の道路ともに一定間隔で一般的な道路照明が設置されている。

### 【課題】

- ・沿道からの光もなく、夜間は暗く安全性に課題がある。
- ・JR 敷地を含めた一体整備ができれば賑わい創出に一層つながる。
- ・道路付属物等を揃え、統一感を図る必要がある。
- ・高木は落葉樹のため、冬は枝木になってしまう。
- ・ベンチ等の休憩スペースがない。
- ・東口よりも閉鎖的な空間である。
- ・工事中西口駅前広場と一体性を持たせる必要がある。
- ・噴水公園や、駅前広場からの人の動線が増加することを踏まえ検討が必要である。

○北戸田駅西口駅前交通広場



①駅前広場入口  
・駐輪場があるため自転車通行が多い



②噴水公園入口  
・噴水公園入口にアーチボラード有



③噴水公園入口  
・定期的にミストが噴出  
・舗装はレンガ調



④西口中央部  
・沿道にマンション立地  
・警察車両の通行あり

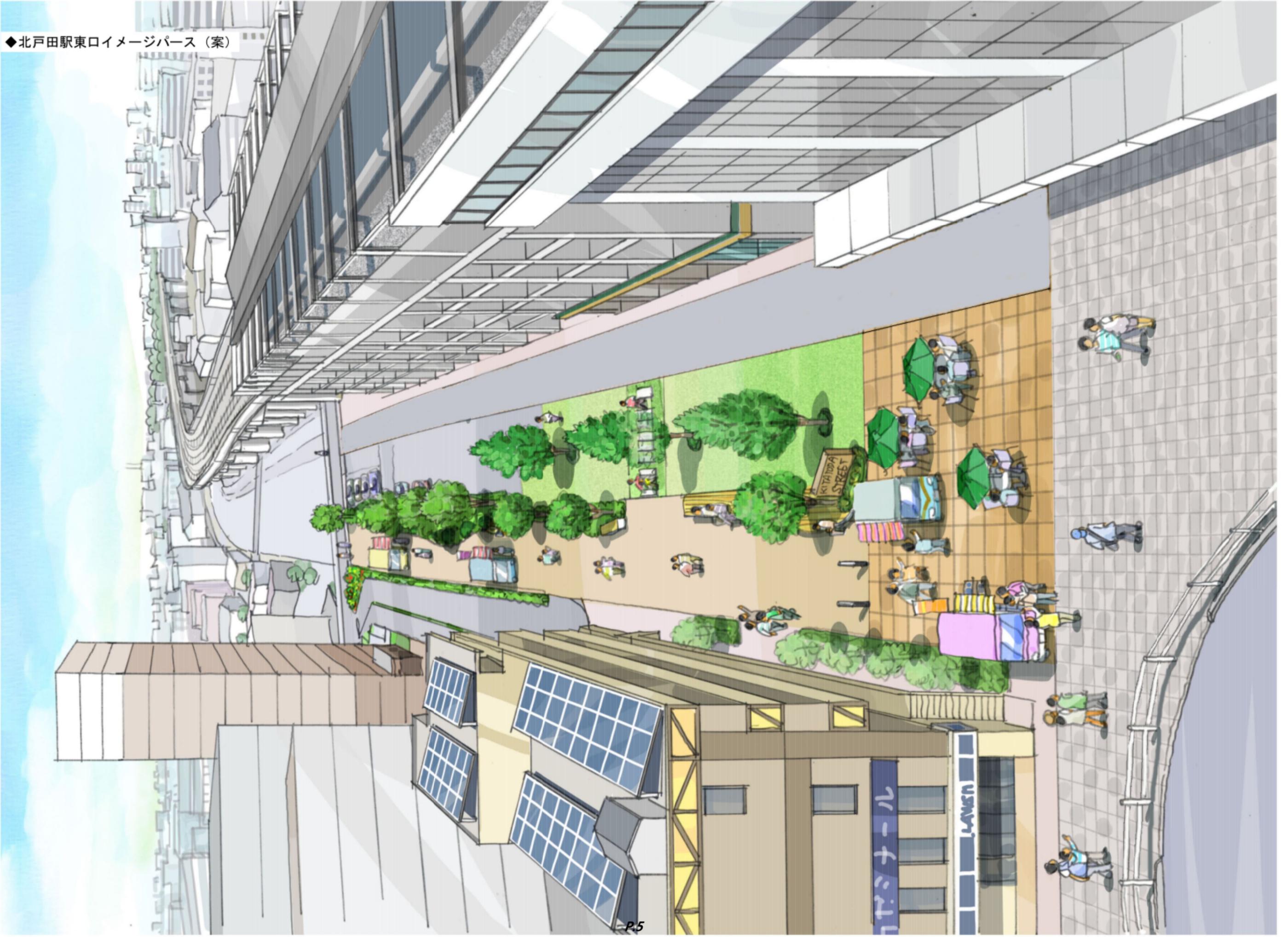


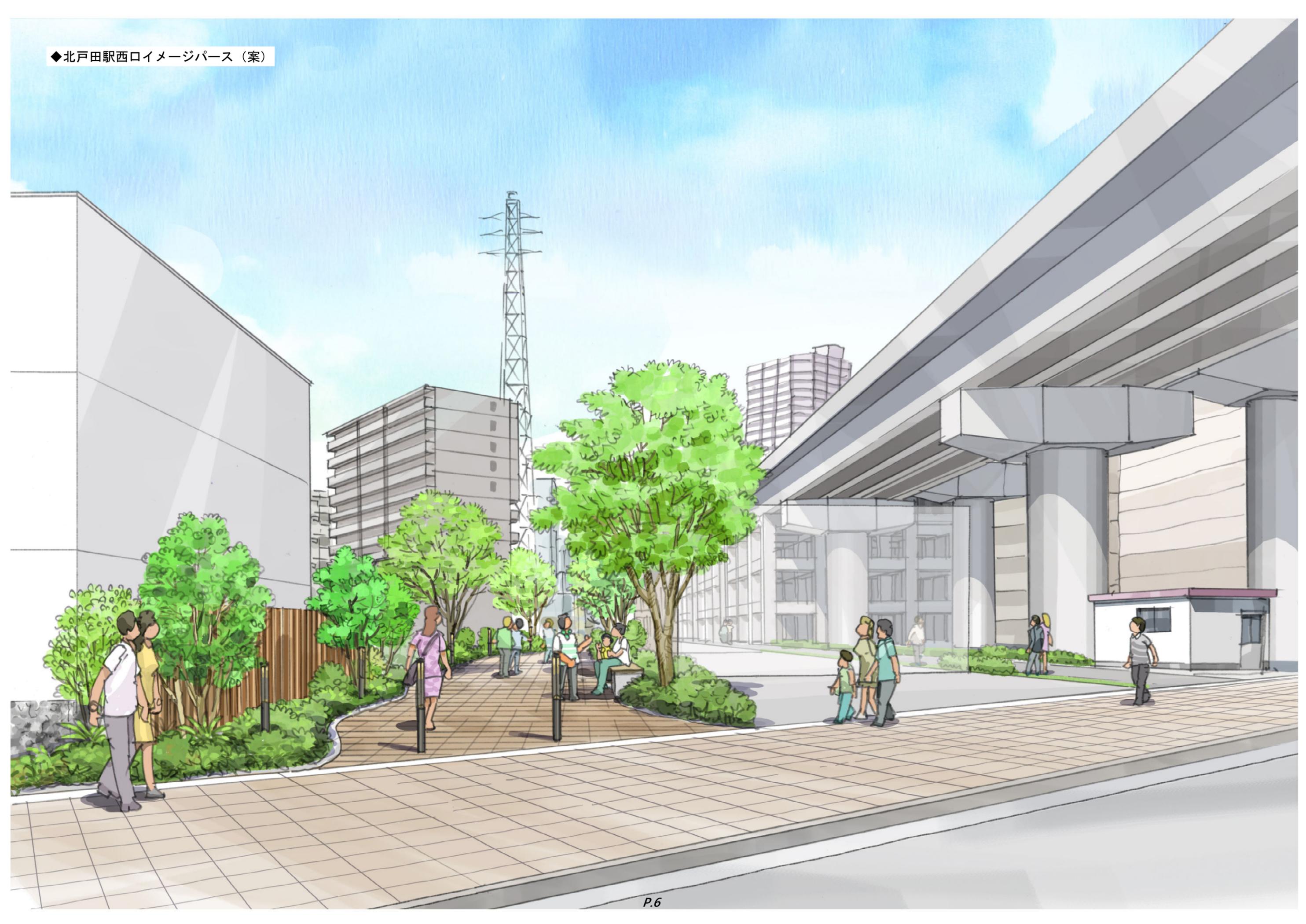
⑤新曾つつじ通り側入口  
・沿道企業の駐輪場有  
・企業側でルーバー等での景観配慮有



⑥JR 側敷地駐車場  
・ジョイフーズ利用者等の使用あり  
・現状西口側から駐車場には入場できない

◆北戸田駅東口イメージパース (案)





# イメージ計画平面図

S=1/600 (A3)

凡例

- : 型押し舗装
- : ブロック系舗装
- : 平板舗装
- : 砂系スラグ舗装
- : 既設天然芝
- : 人工芝 (新設)
- : 新規樹木 (低木)
- : 既存樹木 (低・中・高木)
- : 新規樹木 (中木・常緑)
- : ボール照明
- : ボラード照明
- : 埋め込み型照明
- : 車止めボラード
- : 管理用通路

